

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 8 月 15 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3475000018		
法人名	有限会社ヒサオカ		
事業所名	グループホームいこいの里		
所在地	広島県江田島市江田島町中央1丁目20-3 (電話) 0823-42-5689		
自己評価作成日	令和4年7月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3475000018-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年8月9日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様の尊厳を守り、自立支援、身体拘束をしない介護を行うように努めています。スピーチロックを行わず、利用者様が穏やかに過ごせ、レクリエーションやコミュニケーションによって楽しいと感じる時間を提供し、ADL維持向上、認知症進行予防の為出来る事は行って頂き、出来ない事だけ介助するよう努めています。新型コロナウイルス感染症の為、慰問が入れないので、花見、さつき見学、ドライブ等で気分転換を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の事業所の特徴的な取組みは第一に「馴染みの人や場との関係継続の支援」に深化がある。事業所は気軽に訪問できる事業所作りを重視するが、現在はコロナ禍による面会制限がある中、事業所の電話と家族の携帯電話を通した玄関・居室でのガラス越し・窓越し面会も始まり3割の利用者との面会が実現している。第二に「利用者の希望の表出や自己決定の支援」に深化がある。事業所で趣味の編み物を始めた利用者から編み物仲間が生まれたり、意思決定の難しい方へは選択肢の中から選んだ「数字盤に同じ数字カードを載せるゲーム」を最後までやり遂げた例もある。第三に「虐待の防止の徹底」に深化がある。職員の声掛けも改善し、事業所のスピーチロック（言葉による行動制限）への対応も利用者への感謝と納得を得やすい具体的な声掛けで尊厳の配慮に努めている。

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	経営理念と職員理念を決め、職員理念は「3か条」にまとめ、朝夕の申し送り時に唱和している。 職員は理念を実践につなげる為、定期的に自己目標を決め、自己評価を行っている。	認知症研修会で習得した手法をもとに職員で策定した職員理念を朝夕の申し送りで唱和し、施設理念と共に実践上の立ち返るべき原点として位置付けている。職員は理念に沿った個人目標を半期毎に設定・自己評価し、管理者も適宜助言をして気づきを促し理念の達成度を検証している。	現在の職員理念は「個性を大切に、人に思いやりを、愛のある介護」の3か条であるが、職員の個人目標と同様に定期的に振り返り、気づきを共有できる「場」を設けることにより、職員理念の達成度を検証して職員間の認識の共有や理念の深化・定着に期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご近所とは時々話をしており、農作物をいただくこともあります。小学校やボランティア団体の慰問のお話を頂戴したり、運動会などへの招待も頂きましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、その様な参加等の交流が難しい。	現在はコロナ禍により、家族との窓越し面会や近隣からの野菜の差し入れ等以外は自粛中だが、本来は日頃から盆踊り等の地域行事にも参加していた。又、島内の赤十字奉仕団他のボランティアを受け入れる相互交流や地域の小学校・こども園との定期的な世代間交流もあった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	当事業所で培った「認知症の人への支援や接し方」の技術を地域で役立てる方法がないか民生委員に相談している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議においては利用者の状況、施設の状況、行事報告、事故報告等を行い、意見交換を行っている。頂いたご意見は順次、現場へ取り入れ活かすようにしている。	会議は法人内の他事業所と合同で定期的開催するが、コロナ禍のため書面会議の事もあり、家族代表・民生委員・市議会議員・小学校校長・地域包括支援センター職員他に議事録・事業所運営等の現状報告書を送付している。ヒヤリハットの事例に対し環境整備の助言を得た例もある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の担当者とは日ごろから連絡を取り、疑問点等の相談に乗っていただいている。	地域包括支援センター・市高齢介護課は運営推進会議に参加しており、事業所運営情報を共有している。市担当者とは日頃から相談や報告を通して、又、地域包括支援センター主催の多職種研修会等、行政主催の研修会へはできるだけ参加して協力関係の構築を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>当該施設は急峻な傾斜地に立地しており、玄関のすぐ外が階段と坂道になっている。一人で玄関を出られると転倒事故のリスクが非常に高く、玄関ドアは施錠している。裏庭には日光浴等を楽しんでいただけるスペースを確保しており、外に出ることが可能である。身体拘束廃止委員会を設置し、利用者本位のケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的な拘束廃止委員会・研修会を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識すると共に家族同意の下、已む無く拘束する場合もある。事業所の立地上の制約で危険回避のため玄関を施錠するも居室によっては赤外線離床センサー等を設置している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会において、拘束や虐待につながるケアをしていないか、どうすればその様なことを防止・改善できるか模索している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度はミーティング等で学び、学習できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結時には十分に説明を行い、疑問質問に納得できるよう説明を行っている。入所後に疑問質問が生じた場合も、その都度説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議等で要望を伺うようにしている。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により家族交流会を中止しましたが、例年は家族交流会においても意見を伺うようにしている。</p>	<p>現在はコロナ禍で面会自粛だが、家族とは電話連絡・運営推進会議・事業所での窓越し面会等で意見・要望を把握し、職員は全体日誌等で共有している。以前は年1回の家族交流会もその機会であった。家族情報から利用者に興味である編み物を導入したら他利用者にも波及した例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案は、その都度聞いており、ミーティングや毎日の申し送りにて話し合いの時間を設けることもある。代表者と相談し、反映できるようにしている。	毎日の申し送り、毎月の職員会議、随時又は半年毎の個別面談等を通し管理者は職員の意見を聞く機会を設け介護方法・業務上の提案に対する支援体制を採っている。移乗機器・介護ソフト等、自立支援に資する福祉用具やケア方法の職員提案を受け止め、試行・検証する支援体制がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員は自己目標を設定し、半年後に自己評価を行うと共に、勤務状況についても自己評価、管理者評価を行っている。向上心や「やる気」を持てるように務めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者は職員一人一人の「ケアの力量」を把握し、職員からの質問に答えたり意見交換を行っている。介護に関する技術力・知識の向上を目的とした施設外の研修参加も進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	職員は地域で行われる研修、地域外で行われる研修などに参加するよう努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前の事前面接において、本人様・家族様の要望等を伺い、納得・安心していただけるよう努めている。入所後は安心して過ごせるよう努め、「なじみの関係」になれるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用を開始する段階で家族様が困っていることや本人様との関係、不安に感じることをしっかり聞き取っている。信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時、本人様の状態を把握し、家族様・本人様の要望を聞き、サービス内容の検討をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中において「介護する」という考えではなく、「介護させて頂いている」という考えを持ち、利用者様と一緒に過ごす中で「楽しい」と感じる時間を提供できるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様の状況を家族様に半年ごとに書面でお知らせしている。家族様の思いや考え方も考慮しつつ、家族様にお願いできることは、お願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時に今までの生活歴などの聞き取りを行い、友人・親戚の方の面会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により面会は中止している。テレビ電話等による面会も実施している。	地域との絆を大事にし、馴染みの美容院・実家での法事等を通して馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。コロナ禍による面会制限下、玄関・居室でのガラス越し・窓越し面会や手紙・電話等で利用者・家族の気持ちに寄り添った支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士には「なじみの関係」が構築されており、お互いに助け合ったり声を掛け合ったりされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院等で契約が終了した場合等は、その後の本人様の状態によって相談に応じている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の利用者様との会話やコミュニケーションをとるなかで、本人様が望んでいることは何なのか聞き取り、ご家族と相談しながら支援できるように努めている。	職員は利用者と一緒に話さず深く関わりを持ち思いを汲み取って介護計画に反映する等、思いの共有に努めている。趣味の編み物を始めた利用者から編み物仲間が生まれたり、意思決定困難な方へは選択肢の中から数字盤に同じ数カードを載せるゲームを最後までやり遂げた例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様が施設に入所される以前の生活歴や一人ひとりの生活環境を把握してそれを基に、その人らしい生活が送れるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様一人ひとりの施設での過ごし方、心身の状態を個人記録に記入して情報を職員間で共有し、現状を把握することに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様が施設での生活をより良く過ごせるために、日々の生活の中の変化をモニタリングし、ミーティングにて報告して現状に応じて介護計画を作成している。</p>	<p>利用者ごとの担当職員の情報収集から計画作成担当者が立案し全体ミーティングで検討して家族の同意のもと、本案としている。担当職員が毎月モニタリング、作成担当者が半年を基本に計画を見直している。屋外散歩希望の利用者に屋内の歩行器歩行から段階的に進め生活の活性化に繋げている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>各利用者様の個人記録に毎日の実施したケアの内容や利用者様に対する気づきなどを記入し、職員間で情報を共有して介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様一人ひとりにあったケアの方法を考えて、柔軟性を持って個々の希望に添えるような支援の実施に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍のなかで地域行事に参加することがなくなっていますが、施設内での行事やレクリエーションをに参加していただき、その人らしく生きがいを持って生活できるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医は入所時にご家族様の要望で決定している。主治医には定期的な往診を実施していただいております、日中・夜間とも容態が急変した際には都度に対応していただくよう連携をしている。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、殆どの利用者は協力医を主治医としている。異なる協力医から月2回と週1回、協力歯科医から週1回の訪問診療もある。専門医の受診は主に職員が行っている。非常勤の看護師2名の配置もあり健康管理等、適切な医療を受けられる体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員が利用者様の日々の状態の観察を行い、看護師と情報を共有し何かあれば相談をして、かかりつけ医に受診できるよう対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院時には病院関係者と情報交換を行い、安心して治療に専念して早期退院ができるように努めている。入院中もお見舞いの際に、医師や看護師から本人様の情報をいただいている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	容体が重度化した場合には、点滴や経管栄養などの医療行為が必要になってきますが、当施設で処置可能な医療行為は限られていますので、家族様・主治医・当施設での話し合いで今後の方針を共有している。	利用開始時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明し了解を得ている。重度化した際には関係者で話し合いを行い、できる範囲で適切な支援を行う考えである。過去に数件の看取りもあるが、予め介護老人福祉施設への申し込みの検討や入院による十分な医療連携に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時・事故発生時の状態、対応はミーティング等で話し合いをしながら情報を共有しています。救護訓練等の実施も不定期なため、今後は定期的の実施していきたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災時、災害時の訓練は年二回実施しています。今年はまだ実施できていないため早急に避難訓練を実施できるようにしたい。	消防署の指導のもと、年2回の避難訓練を夜間想定、利用者も参加し実施している。ハザードマップでは非該当地域だが、地域に対し災害時の協力要請も行っている。前に下の道路が土砂災害に罹災した際、地域の土砂撤去作業に協力した経緯がある。減災対策として一定の備蓄整備もある。	

自己評価	外部評価	項 目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の性格等を把握して、一人ひとりの人格を尊重してプライバシーを損なわない声かけを行っている。	言葉による行動制限をする際も利用者への感謝と納得を得やすい具体的な声掛けをして尊厳の配慮に努めている。利用者への不適切な対応にはその場や全体日誌で指導や気づきを促すが、職員間で話しやすい雰囲気もある。利用者の介護記録には他の利用者名は書かない等の配慮もしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が気兼ねせずに自身の希望を言えるよう話を傾聴し、自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本は利用者様の希望に沿って自由に行動できるよう制限をせず見守りをして、他利用者様とトラブルになったり、本人様の身に危険がある場合には止めることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様の好みや個性を尊重し、本人様が好きな服装で過ごせるよう支援している。髪型は当施設に来られる美容院の方に、本人様の希望に沿って散髪していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は決められたメニューに沿って材料が送られてきますが、利用者様が食べにくいものは好きなものに変更している。簡単な下ごしらえや食器の片付けなど、好きな方がやって下さいます。	業者の作る献立で食材が運ばれ、事業所で調理、ご飯と汁物を添え提供している。アレルギーのある利用者には食材を別途調達し、行事食やおはぎ他のおやつ作り等、楽しみとなる工夫もある。利用者は後片付け等、役割に応じた手伝いをし、又利用者により個別食卓等の環境整備もある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	外注で内容が決まっているためカロリー計算されたメニューになっている。嚥下機能の悪い方はきざみ食やおかゆにして提供している。食事摂取量が少ない方には栄養補助食品を摂取していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	夕食後に口腔ケアを実施している。一人ひとりの能力に応じて、声かけや一部介助を行っている。口腔ケアができない方は職員が介助をして清潔にしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自立で排泄ができる方や見守りが必要な方や介助が必要な方の排泄のパターンを把握して、一人ひとりの能力に応じた排泄援助を行っている。夜間は、ポータブルトイレを使用される方の支援もしている。	排泄記録表で排泄パターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。可動式手すりの設置や退院時の紙おむつから紙パンツへの移行例等、状態像に合わせた自立支援を行っている。夜間排泄時の転倒防止の為、赤外線離床センサーを設置している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事面や水分摂取量などに気を付けながら、個々に応じた便秘予防のための対応をしている。午後からは健康体操やレクリエーションを行い、身体を動かしていただくようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎週2回の入浴日を設けていますが、利用者様が声かけに対して拒否された場合には入浴の時間をずらしたり、翌日に入浴日を変更するなど本人様の希望に合わせて入浴支援をしている。	週2回の午前浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせ好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の状態像によりシャワー浴や足浴で対応したり、据え置き式浴槽に複数介助で対応することもある。利用者の好むシャンプーの準備や冬至に柚子湯を提供することもある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日中、居室で休まれる利用者様 もおられるため熱中症にならない よう室温管理にも気を付けている。 夜間なかなか寝付けない利用者 様もおられ、リビングでテレビを 見て過ごしながら様子を見て就 寝の声かけをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬の服用量、副作用などは説明 書で確認し利用者様の状態に変 化があれば記録している。服用 時に間違いがないように、職員 同士で確認してチェックするよ うにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	利用者様の生活歴や日々の会 話から、一人ひとりに合った趣 味を見つけて、歌を歌ったり風 船パレーなどをして気分転換 を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	外出に適した季節や天候、利用 者様の体調に応じて声かけをし ながら本人様の希望に沿って外 出支援をしている。コロナのた めイベントなどの外出支援は 行えていません。	コロナ禍で外出は当面の間自 粛をしているが、天候が良けれ ば裏庭での外気浴や季節行事と して桜・さつき見物や島内の馴 染みの場所へのドライブ等、普 段は行けないような場所で「非 日常」を楽しんでいる。いつも は閉じこもり生活で表情の変わ らない利用者から笑顔がこぼ れることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	金銭は施設側で管理は致しま せんが、本人様のご家族の了承 を得て、少額のお金を持っている 方もおられ、職員が把握してい る。通販などで買い物をされ る方もいる。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者様にご家族に電話をしたいと望まれて、ご家族に電話をされることがある。ご家族からハガキが届く方もいる。</p>	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングではテレビを鑑賞されたり、利用者様同士で会話を楽しまれたり思い思いに過ごされている。壁には利用者様に作成していただいたカレンダーや、行事などで作成した貼り絵や作品を飾っている。</p>	<p>正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とする壁掛け作品で季節の移ろいを感じられ、広い窓からの採光等で居心地の良い生活空間となっている。利用者も洗濯干しや洗濯物たたみを手伝い、生活感を取り入れている。感染症対策では特に職員経路の遮断を重点に万全を期している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者様一人ひとりがそれぞれ自分の居場所でゆっくり過ごせるように、テーブル席やソファを配置している。お一人で休みたいときには自室で過ごされている。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者様が使い慣れた品物を置いて、本人様が安心できる部屋作りができるようにしている。衣類などを自分で使いやすいように整理される方もいる。</p>	<p>居室にはベッド・物入れ又はトイレが備え付けられテレビ等、使い慣れた物やぬいぐるみ等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。家族や相談員の情報をもとに住環境を整えている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者様の安全に考慮して、本人様が出来ていること、出来ないことを把握し安心して生活できるような環境づくりを行っている。</p>	/	

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	経営理念と職員理念を決め、職員理念は「3か条」にまとめ、朝夕の申し送り時に唱和している。 職員は理念を実践につなげる為、定期的に自己目標を決め、自己評価を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご近所とは時々話をしており、農作物をいただくこともあります。小学校やボランティア団体の慰問のお話を頂戴したり、運動会などへの招待も頂きましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、その様な参加等の交流が難しい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	当事業所で培った「認知症の人への支援や接し方」の技術を地域で役立てる方法がないか民生委員に相談している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議においては利用者の状況、施設の状況、行事報告、事故報告等を行い、意見交換を行っている。 頂いたご意見は順次、現場へ取り入れ活かすようにしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の担当者とは日ごろから連絡を取り、疑問点等の相談に乗っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>当該施設は急峻な傾斜地に立地しており、玄関のすぐ外が階段と坂道になっている。お一人で玄関を出られると転倒事故のリスクが非常に高く、玄関ドアは施錠している。裏庭には日光浴等を楽しんでいただけるスペースを確保しており、外に出ることが可能である。身体拘束廃止委員会を設置し、利用者本位のケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会において、拘束や虐待につながるケアをしていないか、どうすればその様なことを防止・改善できるか模索している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度はミーティング等で学び、学習できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結時には十分に説明を行い、疑問質問に納得できるよう説明を行っている。入所後に疑問質問が生じた場合も、その都度説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議等で要望を伺うようにしている。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により家族交流会を中止しましたが、例年は家族交流会においても意見を伺うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案は、その都度聞いており、ミーティングや毎日の申し送りにて話し合いの時間を設けることもある。代表者と相談し、反映できるようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員は自己目標を設定し、半年後に自己評価を行うと共に、勤務状況についても自己評価、管理者評価を行っている。向上心や「やる気」を持てるように務めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者は職員一人一人の「ケアの力量」を把握し、職員からの質問に答えたり意見交換を行っている。介護に関する技術力・知識の向上を目的とした施設外の研修参加も進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	職員は地域で行われる研修、地域外で行われる研修などに参加するよう努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前の事前面接において、本人様・家族様の要望等を伺い、納得・安心していただけるよう努めている。入所後は安心して過ごせるよう努め、「なじみの関係」になれるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で家族様が困っていることや本人様との関係、不安に感じることをしっかり聞き取っている。信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時、本人様の状態を把握し、家族様・本人様の要望を聞き、サービス内容の検討をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中において「介護する」という考え方ではなく、「介護させて頂いている」という考えを持ち、利用者様と一緒に過ごす中で「楽しい」と感じる時間を提供できるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様の状況を家族様に半年ごとに書面でお知らせしている。家族様の思いや考え方も考慮しつつ、家族様にお願いできることは、お願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時に今までの生活歴などの聞き取りを行い、友人・親戚の方の面会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により面会は中止している。テレビ電話等による面会も実施している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士には「なじみの関係」が構築されており、お互いに助け合ったり声を掛け合ったりされている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院等で契約が終了した場合等は、その後の本人様の状態によって相談に応じている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の利用者様との会話やコミュニケーションをとるなかで、本人様が望んでいることは何なのか聞き取り、ご家族と相談しながら支援できるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様が施設に入所される以前の生活歴や一人ひとりの生活環境を把握してそれを基に、その人らしい生活が送れるように支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様一人ひとりの施設での過ごし方、心身の状態を個人記録に記入して情報を職員間で共有し、現状を把握することに努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人様が施設での生活をより良く過ごせるために、日々の生活の中の変化をモニタリングし、ミーティングにて報告して現状に応じて介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	各利用者様の個人記録に毎日の実施したケアの内容や利用者様に対しての気づきなどを記入し、職員間で情報を共有して介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	利用者様一人ひとりにあったケアの方法を考えて、柔軟性を持って個々の希望に添えるような支援の実施に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍のなかで地域行事に参加することがなくなっていますが、施設内での行事やレクリエーションをに参加していただき、その人らしく生きがいを持って生活できるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医は入所時にご家族様の要望で決定しています。主治医には定期的な往診を実施していただいております。日中・夜間とも容態が急変した際には都度に対応していただくよう連携をしています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員が利用者様の日々の状態の観察を行い、看護師と情報を共有し何かあればが相談をして、かかりつけ医に受診できるよう対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院時には病院関係者と情報交換を行い、安心して治療に専念して早期退院ができるように努めています。入院中もお見舞いの際に、医師や看護師から本人様の情報をいただいています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	容体が重度化した場合には、点滴や経管栄養などの医療行為が必要になってきますが、等施設で処置可能な医療行為は限られていますので、家族様・主治医・等施設での話し合いで今後の方針を共有しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時・事故発生時の状態、対応はミーティング等で話し合いをしながら情報を共有しています。救護訓練等の実施も不定期なため、今後は定期的の実施していきたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災時、災害時の訓練は年二回実施しています。今年はまだ実施できていないため早急に避難訓練を実施できるようにしたい。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の性格等を把握して、一人ひとりの人格を尊重してプライバシーを損なわない声かけを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が気兼ねせずに自身の希望を言えるよう話を傾聴し、自己決定できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本は利用者様の希望に沿って自由に行動できるよう制限をせず見守りをして、他利用者様とトラブルになったり、本人様の身に危険がある場合には止めることもあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様の好みや個性を尊重し、本人様が好きな服装で過ごせるよう支援しています。髪型は当施設に来られる美容院の方に、本人様の希望に沿って散髪していただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は決められたメニューに沿って材料が送られてきますが、利用者様が食べにくいものは好きなものに変更しています。簡単な下ごしらえなどを好きな方がやって下さいます。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>外注で内容が決まっているためカロリー計算されたメニューになっています。嚥下機能の悪い方はきざみ食やおかゆにして提供しています。食事摂取量が少ない方には栄養補助食品を摂取していただいています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>夕食後に口腔ケアを実施しています。自ら毎食後に口腔ケアを行っている方もおられます。一人ひとりの能力に応じて、声かけや一部介助を行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>自立で排泄ができる方が見守りが必要な方や介助が必要な方の排泄のパターンを把握して、一人ひとりの能力に応じた排泄援助を行っています。夜間は、ポータブルトイレを使用される方の支援もしています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事面や水分摂取量などに気を付けながら、個々に応じた便秘予防のための対応をしています。必要に応じて主治医から処方された緩下剤を使用しています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎週2回の入浴日を設けていますが、利用者様が声かけに対して拒否された場合には入浴の時間をずらしたり、翌日に入浴日を変更するなど本人様の希望に合わせて入浴支援をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日中、居室で休まれる利用者様 もおられるため熱中症にならない よう室温管理にも気を付けていま す。夜間は一人ひとり就寝時間 が異なるため、本人様の意思に 沿って声かけを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬の服用量、副作用などは説明 書で確認し利用者様の状態に変 化があれば記録しています。服 用時に間違いがないように、職 員同士で確認してチェックする ようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	利用者様の生活歴や日々の会 話から本人様がやりたいことを みつけて、趣味援助してカラオ ケや編み物などをして気分転換 を図っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	外出に適した季節や天候、利用 者様の体調に応じて声かけをし ながら本人様の希望に沿って外 出支援をしています。コロナの ためイベントなどの外出支援は 行えていません。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	金銭は施設側で管理は致しま せんが、本人様にご家族の了承 を得て、少額のお金を持っている 方もおられ、職員が把握してい ます。通販などで買い物をして いただける方もおられます。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様がご家族に電話をしたいと望まれて、ご家族に電話をされることがあります。携帯電話を所持して家族に連絡される方もいます。ご家族からハガキが届く方もおられます。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングではテレビを鑑賞されたり、利用者様同士で会話を楽しまれたり思い通りに過ごされています。壁には利用者様に作成していただいたカレンダーや、行事などで作成した貼り絵や作品を飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者様一人ひとりがそれぞれ自分の居場所でゆっくり過ごせるように、テーブル席やソファを配置しています。お一人で休みたいときには自室で過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様が使い慣れた品物を置いて、本人様が安心できる部屋作りができるようにしています。衣類などを自分で使いやすいように整理される方もおられます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者様の安全に考慮して、本人様が出来ていること、出来ないことを把握し安心して生活できるような環境づくりを行っています。		

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームいこいの里

作成日 平成4年9月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員理念は何年も変更してなかったが、職員個人の目標は半年ごとに見直しているので職員理念も見直していきたい。	職員全体の目標も全員で評価し、見直す事により施設のレベルアップに繋げていきたい。	職員全員により評価し新たな目標をたてる。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。